

2020年11月25日

各 位

会 社 名 株式会社 日本エスコ  
代表者名 代表取締役社長 伊藤 貴 俊  
(東証1部・コード8892)

## 2020年GRESBリアルエステイト評価結果に関するお知らせ

今般、2020年実施のGRESB<sup>※1</sup>リアルエステイト評価<sup>※2</sup>における「ディベロップメント・ベンチマーク」において、「3 Stars」及び「Green Star」の評価を取得いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

### 記

#### 目的・概要

当社は、経営戦略の一つに「ESG<sup>※3</sup>推進による社会課題への対応」を掲げ、その活動の一環として、不動産セクターのESG配慮を測る年次のベンチマーク評価であるGRESBに2018年より毎年参加し、継続的な評価結果の向上を目指しております。

その結果本年は、「ディベロップメント・ベンチマーク」における環境への配慮やサステナビリティへの取り組みについて、総合スコアでの相対評価に基づく5段階評価のGRESBレーティングにおいて、2019年の「2 Stars」からランクを上げ、初めて「3 Stars」の評価となりました。また、「マネジメント・コンポーネント」及び「ディベロップメント・コンポーネント」の双方において優れていると高評価を受け、「Green Star<sup>※4</sup>」を2年連続で取得いたしました。

当社は、環境に配慮したZEH<sup>※5</sup>対応のマンション開発や「iPS細胞」研究への支援など様々な活動を行い、2020年3月には株式会社三井住友銀行が提供する「ESG/SDGs評価融資」による資金調達の実現<sup>※6</sup>、同年5月には環境省が策定した日本独自の環境マネジメントシステム「エコアクション21」の認証を取得する<sup>※7</sup>など、着実にESG経営を推進しています。今後も、当社グループの持続的成長を目指してESG活動に積極的に取り組んでまいります。



※1 GRESBとは、不動産セクターの環境・社会・ガバナンス(ESG)配慮を測る年次のベンチマーク評価及びそれを運営する組織であり、責任投資原則(PRI)を主導した欧州の主要年金基金グループを中心に2009年に創設されました。

※2 GRESB評価の一つであるGRESBリアルエステイト評価とは、不動産会社、ファンドごとのサステナビリティへの取り組みを評価するものであり、その中で「ディベロップメント・ベンチマーク」とは、新規開発・大規模改修を主業とする参加者のために実施されるベンチマーク評価です。本年から、新規開発・大規模改修のみでなく既存物件運用も行う参加者についても、新規開発・大規模改修部分のみの評価が与えられるようになり、ベンチマークの母数が大幅に増加しました。

※3 ESGとは、環境(Environment)、社会(Social)、企業統治(Corporate Governance)の頭文字をとったものです。いずれの側面も企業が事業活動を展開するにあたって配慮や責任を求められる重要課題として考えられています。

※4 「ディベロップメント・ベンチマーク」における「Green Star」とは、「マネジメント・コンポーネント」及び「ディベロップメント・コンポーネント」の2軸で絶対評価の上、双方とも得点率が50%以上の参加者へ与えられます。

※5 ZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)とは、「外皮の断熱性能等を大幅に向上させるとともに、高効率な設備システムの導入により、室内環境の質を維持しつつ大幅な省エネルギーを実現した上で、再生可能エネルギーを導入することにより、年間の一次エネルギー消費量の収支がゼロとすることを目指した住宅」です。

※6 詳細は、2020年3月27日公表「[ESG/SDGs評価融資30億円の資金調達について](#)」をご覧ください。

※7 詳細は、2020年5月28日公表「[環境マネジメントシステム\(EMS\)「エコアクション21」認証取得のお知らせ](#)」をご覧ください。

当社ESGの取組み URL : <https://www.es-conjapan.co.jp/corp/esg/>  
<本件に関する問合せ> 管理グループ 広報・IR担当 電話 03-6230-9308

以上